

【2023年度】

システムデザイン工学科
2022年度以降入学生

Table with columns for 0 units, 10 units, 16 units, 14 units, 16 units, 22 units, and 94 units. It lists various courses like '必修科目', 'インターンシップ', 'ロボティクス&デザイン', and '文獻研究'.

博士前期課程での学修は、学士課程教育での学習成果を踏まえて、より高度な専門性とともに高い倫理性、他分野技術に対する幅広い理解を目指すカリキュラムを編成する。
1)「専門」では、以下に掲げる各専門分野の確かな知識を修得する。
a)「ロボティクス分野」では、メカニクス、センシング、アクチュエーション、コントロール、シミュレーションとそれらの統合などロボティクスに関する実践的な素養を養う。

ロボティクス&デザイン工学研究科は、ロボティクス&デザインセンターにおける産業界・行政などえられた実社会の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとし、本研究科博士前期課程は、工学的な知識・技術を、人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成します。
(求める人物像)
(1)ロボティクス、インターネットを核としたネットワーク技術、建築学、インテリア・プロダクトデザイン学などの専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を基礎として、柔軟で粘り強い思考力と確かな意欲を持っている人

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究などを通して、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。
<ロボティクス&デザイン工学部>
(1)専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って考え続けるための柔軟で粘り強い思考力と確かな意欲を持っている。[幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]

Table with columns for '分野別到達目標' and '卒業に必要な単位数 124単位'. It lists various goals and unit requirements for different fields.

Table with columns for 30 units, 31 units, 3 units, 13 units, 20 units, 26 units, 13 units, and 20 units. It lists various courses like '必修科目', '工学関連科目', 'その他連携科目', and '専門横断科目'.

ロボティクス&デザイン工学部
ロボティクス&デザイン工学部ディプロマ・ポリシーに掲げられた能力を備えた人材を育成するために、以下の方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目選定を取り入れるとともに、科目間連携を基とした体系的カリキュラムを編成する。
1) 人文・社会科学、情報科学、数値・データサイエンス、経営、知的財産等に関する科目によって、技術者・デザイナーに必要な幅広い教養を養う。その前向きとして、日本リテラシー(理解力・表現力)に関する能力を高める。

システムデザイン工学科は、我々の身の回りにもあるものすべてがインターネットに繋がっていき、技術革新に対応するために、機械工学・電気電子工学・情報工学を基礎とする学問体系的基礎を修得し、ユーザ視点から、人が人らしく豊かに暮らす社会の実現を支えるIoTを活用したものづくりやサービスの創出ができる人材を育成します。
<求める人物像>
(1)人らしく豊かに暮らす社会・未来の実現に、工学の専門性から貢献したいという意欲を持っている人

※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含まれない

【2023年度】

システムデザイン工学科
2017-2021年度入学生

Table with columns for 0, 10, 16, 14, 16, 22, 94 units. Rows include 通年, 4Q, 3Q, 2Q, 1Q, and 分野 (学際, 専門共通, システムデザイン, ロボティクス, プロダクトデザイン, 建築デザイン).

博士前期課程での学修は、学士課程教育での学習成果を踏まえて、より高度な専門性ととも高い倫理性、他分野技術に対する幅広い理解を目指すカリキュラムを編成する。
1)「専門」では、以下に掲げる各専門分野の確かな知識を修得する。
a)「ロボティクス分野」では、メカニクス、センシング、アクチュエーション、コントロール、シミュレーションとそれらの統合などロボティクスに関する実践的な素養を養う。

ロボティクス&デザイン工学研究科は、ロボティクス&デザインセンターにおける産業界・行政などえられた実社会の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとし、本研究科博士前期課程は、工学的な知識・技術を、人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成します。
(1)ロボティクス、インターネットを核としたネットワーク技術、建築学、インテリア・プロダクトデザイン学などの専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を基礎として、柔軟で粘り強い思考力の礎を築いている人

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究などを通して、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。
<ロボティクス&デザイン工学部>
(1)専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力の礎を築き行動できる。[幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]

Table with columns for 30, 28, 9, 14, 18, 26, 6, 22, 4 units. Rows include 通年, 4Q, 3Q, 2Q, 1Q, and 分野 (共通教養科目, 工学関連科目, その他連携科目, 専門横断科目, システム系, 実験・演習, IoTものづくり系).

社会活動の基礎となる日本語リテラシー(読解・文章表現・文章理解力)を身につける。グローバル化に対応できるプレゼンテーション能力の基礎(意思疎通)でプレゼンテーション能力を身につける。人文・社会・自然科学の基礎知識・教養を身につける。専門分野に関する体系的な知識・技術を身につける。具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]

システムデザイン工学科は、ロボティクス&デザイン工学部ディプロマ・ポリシーに加え、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。
(A)現代社会を支える機械・電気・電子・情報、計測・制御・通信などの工学的知識に加え、それらを融合したロボティクスおよびネットワーク関連の幅広い知識を身につけてそれらを活用できる。[幅広い工学的知識に基づき技術を融合し活用する力]

システムデザイン工学科は、我々の身の回りにもあるものすべてがインターネットに繋がって高度化していく技術革新に対応するために、機械工学・電気電子工学・情報工学を基礎とする学問体系の基礎を修得し、人間中心の視点から、人が人らしく豊かに暮らせる社会の実現を支えるIoTを活用したものづくりやサービスの創出ができる人材を育成します。
(1)人々の暮らしを豊かに暮らす社会・未来の実現に、工学の専門性から貢献したいという想いを持っている人
(2)ものづくりとシステム構築を融合するために、柔軟な発想とチャレンジ精神を持っている人

システムデザイン工学科は、我々の身の回りにもあるものすべてがインターネットに繋がって高度化していく技術革新に対応するために、機械工学・電気電子工学・情報工学を基礎とする学問体系の基礎を修得し、人間中心の視点から、人が人らしく豊かに暮らせる社会の実現を支えるIoTを活用したものづくりやサービスの創出ができる人材を育成します。
(1)人々の暮らしを豊かに暮らす社会・未来の実現に、工学の専門性から貢献したいという想いを持っている人
(2)ものづくりとシステム構築を融合するために、柔軟な発想とチャレンジ精神を持っている人
(3)人々の暮らしを豊かに暮らす社会・未来の実現に、工学の専門性から貢献したいという想いを持っている人

※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない